

目 次

*見出し語五十音索引は目次の後に掲載

I 部 民具学を知る

1 章 民具の発見 [担当編集委員：佐野賢治]

滝沢敬三—常民文化への眼差し	2	滝沢馬琴と江戸考証学	14
アチック・ミュージアム	4	E. S. モースと日本学	16
【民具蒐集調査要目】と民具調査	6	坪井正五郎と土俗学	18
アチック・ミュージアムの刊行物	10	今和次郎と考現学	20
アチック同人の活躍	12	柳宗悦と民芸	22

2 章 民具学の成立 [担当編集委員：田邊 悟・中村ひろ子]

文化財となった民具	26	民具研究講座の開講	38
博物館の普及と民具	28	日本民具学会の設立	40
日本常民文化研究所の新たな展開	30	地域民具学会と民具研究会	42
「民具試論」から【民具学提唱】へ	34	民具の全国的調査	44
【民具マンスリー】の刊行	36	日本民俗学における民具研究	46
		民具調査研究の体系化	48

3 章 民具学の対象と方法 [担当編集委員：小川直之]

民具とは何か	52	民具技術論	66
自作民具論と流通民具論	54	民具誌論	68
用具論	56	民具変遷論	70
物質文化研究と民具学	58	紀年銘を持つ民具	72
菅江真澄の紀行考証法	60	民具学と考古学	74
柳田国男の生活史叙述	62	民具研究と文献史料	76
折口信夫の造形伝承論	64	民具学と絵画資料	78

民具学と社会経済史	80	民具と科学技術論	84
民具学と高度経済成長	82	比較民具論—日本と中国	86

4章 民具の調査と保存 [担当編集委員：金野啓史・宮本八恵子]

民具と出会う	90	民具の製作方法を記録する	108
民具を群でとらえる	92	民具の使用方法を記録する	110
民具を観察する	96	民具と身体との関わりを記録する	112
民具の情報を集める	98	民具使用者の感覚を記録する	114
民具をチームで調べる	100	民具を収集する	116
民具を資料化する	102	民具を保存する	118
民具を分類する	104	民具を活用する	120
民具の形状を記録する	106		

II部 民具が生まれる

1章 環境と民具 [担当編集委員：印南敏秀]

海里山の環境と民具	124	浜、磯の民具	138
里海の民具	128	潟湖の民具	140
里地の民具	130	渡り鳥と民具	142
里山の民具	132	生態と民具	144
半島と島の民具	134	技術移動と民具（鍛冶屋）	146
湾、川の民具	136	文明化と民具	148

2章 民具の素材 [担当編集委員：篠崎茂雄・伊達仁美]

民具の素材	152	木	162
鉄	154	竹	164
銅とアルミニウム	156	藁	166
土と石	158	動物性素材	168
植物	160	合成素材	170

3章 民具をつくる [担当編集委員：菊池健策]

自製の民具	174	流通する民具	182
職人の世界	176	職人の移動	184
船大工	178	大量生産の民具	186
鍛冶職人	180	工房と町工場	188

4章 民具を使う [担当編集委員：榎 陽介]

身体技法と民具	194	女性と民具	206
民具を使った技術の再現	196	技術の変化と民具の変化	208
主婦の動きと民具	200	あつらえる民具	210
民具の生かし方（衣服の場合）	204		

III部 民具学で見る

1章 住まいと民具 [担当編集委員：榎 美香]

民具と民家	214	火どころと民具	226
民具の配置	216	風呂・便所と民具	228
家普請と民具	218	ニワと民具	230
建築儀礼と民具	220	家屋敷を守る民具	232
灯りの民具	222	災害への備えと民具	234
民具と収納	224		

2章 生業と民具 [担当編集委員：池田哲夫・武士田 忠]

ウミ（海）をめぐる生業	238	釜 漁	248
網 漁	242	突き漁	250
釣 漁	244	潜水漁	252
追い込み漁	246	船	256

漁と小屋	260	低湿地の生産と民具	284
漁具と技術移動	262	収穫と民具	286
加工と交易	264	養蚕と民具	290
漁業と資源保護, 慣行	266	牛馬のいる暮らし	294
製塩	268	狩猟と民具	298
オカ(陸)を巡る民具	270	山仕事と民具	302
稲作と民具	272	茶づくりと民具	304
水利と民具	274	商いと民具	306
内水面の漁撈と狩猟	278	醸造業と民具	308
畑作と民具	280		

3章 食と民具 [担当編集委員: 福岡直子]

台所と民具	314	食事の携帯	326
保存と容器	316	おやつと嗜好品	328
食の計量	318	管理と衛生	330
炊事と用具	320	食の民具と名称	332
食事の場	322	生活改善運動と台所	334
多様な食器	324		

4章 衣と民具 [担当編集委員: 宮本八恵子]

糸づくり	338	洗濯, 洗い張り, 染め替え	360
布づくり	342	衣服の繕い	362
仕立て	346	衣服の繰り回しと再生	364
晴れ着とふだん着	348	髪型と化粧	366
仕事着と機能性	350	身だしなみ	368
被り物と履物	352	装飾品と身体装飾	370
衣類の新調	356	衣服の記録	372
衣服の所有	358	装いの記録	376

5章 社会と民具 [担当編集委員: 加藤隆志・高橋典子]

ムラの範囲と民具	380	医療と衛生	390
ムラの機能と民具	382	時とモノの計量	392
相互扶助と民具	384	戦時下の生活	394
防災と民具	386	出征と兵士	396
つきあいと民具	388		

6章 祈りと願いの民具 [担当編集委員: 神野善治・佐野賢治]

神仏像の造形	400	身体部位の形象	412
神仏の図像	402	ツクリモノ	414
音・灯り・香り	404	神饌・供物と器	416
神の柱	406	呪いと民具	418
年棚・盆棚	408	巡拝・巡礼の用具	420
描かれた願い	410		

7章 まつりと民具 [担当編集委員: 畠山 豊]

巡行の用具	424	神楽	434
火の歓待	428	獅子頭	436
競技争奪	430	人形芝居	438
囃子	432		

8章 人の一生と民具 [担当編集委員: 松崎憲三]

出産	442	厄年と長寿祝い, 老いへの対処	458
育児	446	死と儀礼	460
子どもの成長と儀礼	448	形身	462
一人前と成人儀礼	450	墓地と石塔	464
縁結びと縁切り	452	先祖祭祀	468
結婚と儀礼	454	異常死者の供養	470

9章 移動と民具 [担当編集委員：織野英史・鈴木通大]

人とモノの移動	474	猫車（一輪車）	492
交易用具	478	乗物の変遷	494
頭上運搬	480	河川運搬	498
負う運搬	482	海運・海上交易	500
担ぐ運搬（棒による運搬）	486	操船具	504
曳く運搬	488	渡船、伝馬船	506
車や畜力による運搬	490		

IV部 民具を考える

1章 民具と地域性 [担当編集委員：中村ひろ子]

運搬具で読む	510	鎌で読む	524
織機で読む	514	イカ釣具で読む	526
仕事着で読む	516	釣針で読む	528
唐箕で読む	518	船大工用具で読む	530
クルリボウで読む	520	沖縄文化を読む	532
千歯扱きで読む	522	アイヌの民具	536

2章 民具の変容 [担当編集委員：刈田 均・安室 知]

改良、特許、新案登録	542	骨董としての民具	552
大量生産時代の民具	544	循環する民具	554
昭和30年代ブーム	546	妖怪化する民具	556
プラスチック製品	548	【コラム】道具の転用—亀山巖の考現学調査	558
ブラックボックスの民具	550		

3章 民具と現代社会 [担当編集委員：菊池健策]

暮らしの変化と民具	560	継承される技術と民具	570
地域社会の変貌と民具	562	文化財としての民具	572
収集保存の現在	564	文化としての民具	574
災害と民具	566	民具から見えるもの	576

見出し語五十音索引	xv
引用・参考文献	579
事項索引	612
人名索引	630

- ・本書はこれまで蓄積してきた民具学の成果をもとに、近年の研究動向を考慮して237の項目を選定しました。
- ・出典のない写真・図表は著者による撮影・作成または提供を示します。
- ・本文中の重要事項や人名、文献については、巻末の「事項索引」「人名索引」、ならびに「引用・参考文献」をご参照ください。
- ・各項目については、これまでの研究成果を的確に反映するよう記述を心がけましたが、併せて、著者の見解についても、可能な限り自由に主張できるようにしました。

本文ならびに資料の一部には、今日の人権意識にてらして不適当と思われる表現が用いられていますが、あくまで学術的な目的からの使用であり、差別を容認するものではありません。